

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年6月11日 (2015.6.11)

【公表番号】特表2013-544876(P2013-544876A)

【公表日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-068

【出願番号】特願2013-542619(P2013-542619)

【国際特許分類】

C 0 7 H 15/26 (2006.01)

A 6 1 K 31/7056 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 H 15/26 C S P

A 6 1 K 31/7056

A 6 1 P 31/04

A 6 1 K 45/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年3月13日 (2015.3.13)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

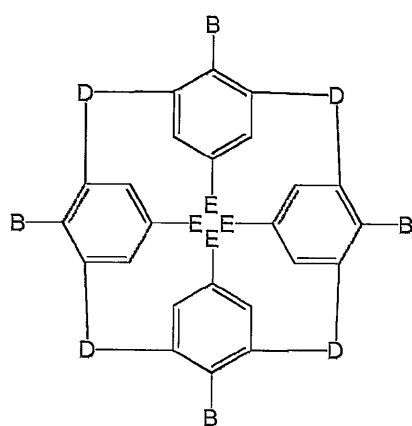
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

次に示す式を有するカリキサレン系グリコシル化合物 (I) であって、

【化 1】



(I)

式中、

D は、独立して、 $-CH_2-$ 基、酸素原子、硫黄原子、スルフィニル基、もしくはスルホニル基から選択され、

E は、独立して、水素、1 ~ 10 個の炭素原子を有するアルキル、6 ~ 20 個の炭素原子を有するアリール、二酸化窒素基、アジド基、アミノ基、グアニジニウム基、ハロゲン原子、 $-CH_2R$ 基 (式中、R はヒドロキシル、ハロゲン、アミノ基、 $N(アルキル)_2$ 基、 $NH(アルキル)$ 基である) から選択されるか、又は、E は、 $-CO-R'$ (式中、 R' は水素原子、ヒドロキシル基、もしくはアミノである) を表し、

B は、A - C 基

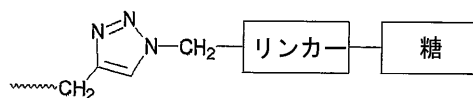
{ 式中、

A は、独立して、酸素原子、硫黄原子、NH 基、もしくは $(CH_2)_i$ 基（式中、i は 1 から 10 の整数である）から選択され、

C は、独立して、水素、アルキル、アルケニル、アルキニルから選択されるか、又は、

C は、次に示す式の基

【化 2】



[式中、**リンカー**は、次に示す式の基

$(CO-NH)_n - (V)_m - U$

(式中、

n は 1 ~ 3 の整数であり、

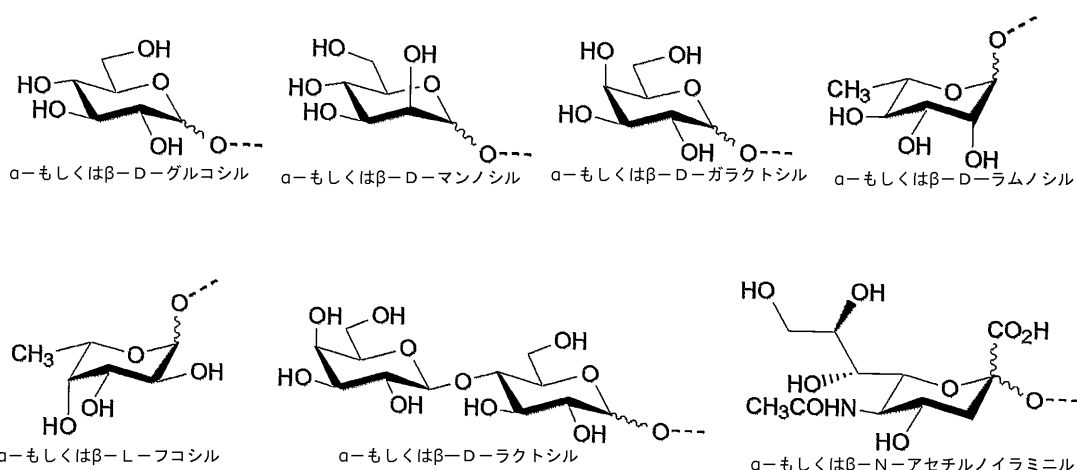
V は、 CH_2 、 C_6H_4 （フェニル“Ph”）、 $CH_2-CH_2-O-CH_2$ 、 $CH_2-C(=O)-NH-CH_2$ であり、

m は 1 ~ 15 の整数であり、

U は、存在しないか、もしくは CH_2 である）であり、

糖は、少なくとも 1 つの炭水化物部分を有する基であって、次に示す基から選択される基

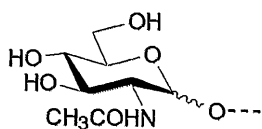
【化 3】



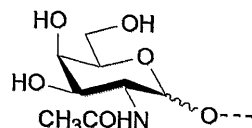
もしくはこれらの誘導体である] であり、

前記 C 基の糖誘導体が、次に示す

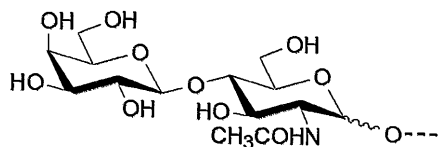
【化 4】



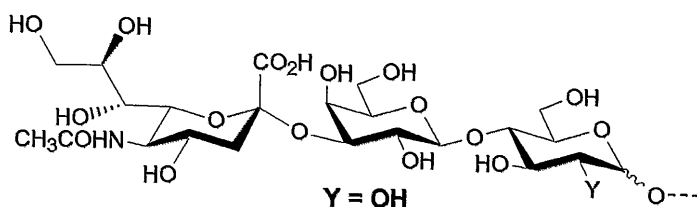
α-もしくはβ-D-N-アセチルグルコサミニル



α-もしくはβ-D-N-アセチルガラクトサミニル



α-もしくはβ-D-N-アセチルラクトサミニル

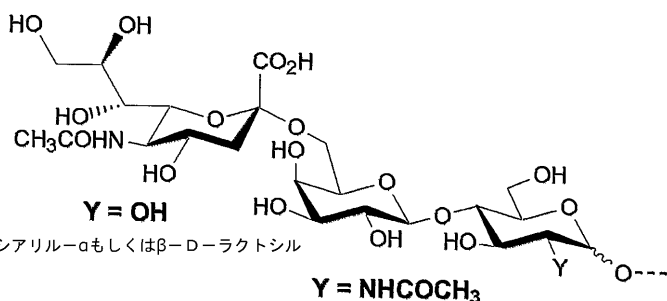


3'-シアリル-α-もしくはβ-D-ラクトシル



3'-シアリル-α-もしくはβ-D-N-アセチルラクトサミニル

及び

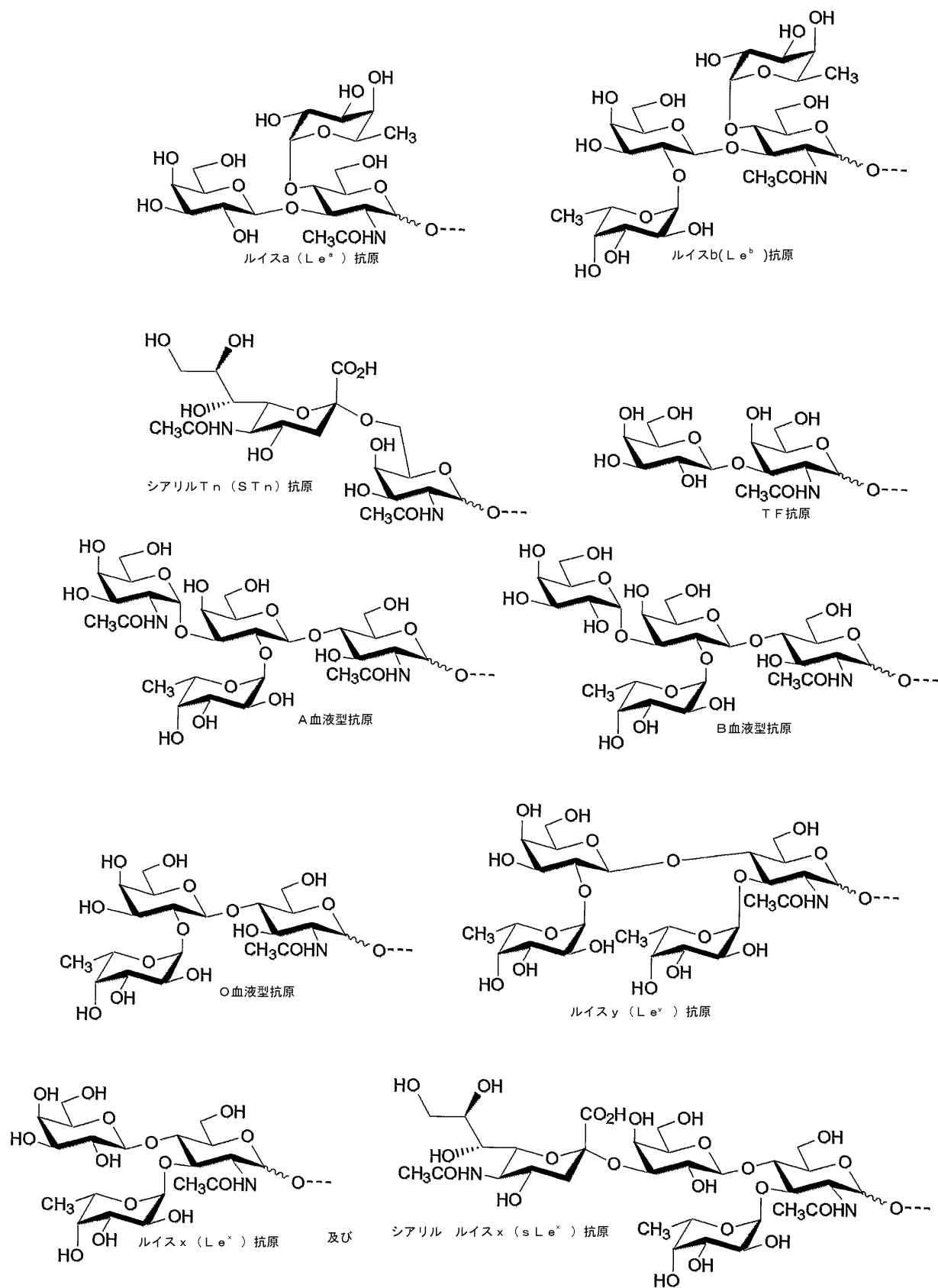


6'-シアリル-α-もしくはβ-D-ラクトシル

6'-シアリル-α-もしくはβ-D-N-アセチルラクトサミニル

から選択され、あるいは、前記 C 基の糖誘導体が、次に示す

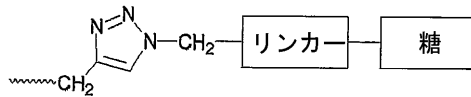
【化5】



から選択され、

かつ、該カリキサレン系グリコシル化合物(I)の4つのC基のうちの少なくとも1つは、次に示す前記式の基

【化 2】



を表す }、

カリキサレン系グリコシル化化合物 (I)。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

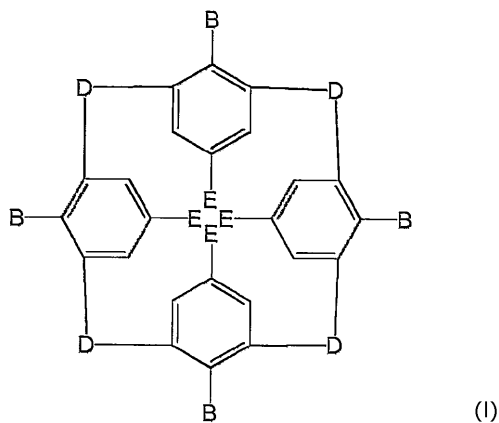
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

本発明の 1 つの態様においては、本発明は以下の式で表されるカリキサレン系グリコシル化化合物 (I) を提供する。

【化 1】



式中、

D は、独立して、 $-\text{CH}_2-$ 基、酸素原子 ($-\text{O}-$)、硫黄原子 ($-\text{S}-$)、スルフィニル基 ($-\text{S}(=\text{O})-$)、もしくはスルホニル基から選択され、

E は、独立して、水素、1 ~ 10 個の炭素原子を有するアルキル、6 ~ 20 個の炭素原子を有するアリール、二酸化窒素基 ($-\text{N}(\text{O})_2-$)、アジド基 ($-\text{N}=\text{N}^+=\text{N}^-$)、アミノ基 ($-\text{NH}_2$)、

H_3 、グアニジニウム基 ($-\text{N}(\text{H})=\text{N}-\text{NH}_2$)、ハロゲン原子、 $-\text{CH}_2\text{R}$ 基 (式中、R はヒドロキシル (OH)、ハロゲン、アミノ基、 $\text{N}(\text{アルキル})_2$ 基、 $\text{NH}(\text{アルキル})$ 基である) から

選択されるか、又は、E は、 $-\text{CO}-\text{R}'$ ($-\text{C}(=\text{O})-\text{R}'$) (式中、 R' は水素原子、ヒドロキシル基、もしくはアミノである) を表し、

B は、A - C 基

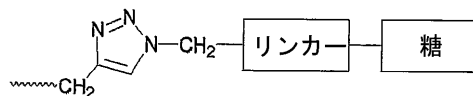
{ 式中、

A は、独立して、酸素原子、硫黄原子、NH 基、もしくは $(CH_2)_i$ 基（式中、 i は 1 から 10 の整数である）から選択され、

C は、独立して、水素、アルキル、アルケニル、アルキニルから選択されるか、又は、

C は、次に示す式の基

【化 2】



【式中、**リンカー**は、次に示す式の基

$(CO-NH)_n - (V)_m - U$

（式中、

n は 1 ~ 3 の整数であり、

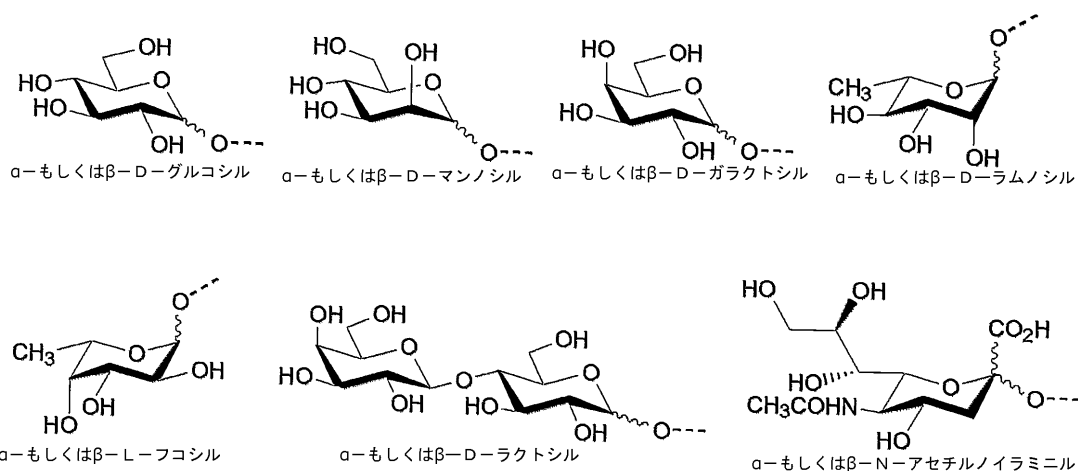
V は、 CH_2 、 C_6H_4 （フェニル “Ph”）、 $CH_2-CH_2-O-CH_2$ 、 $CH_2-CO-NH-CH_2$ であり、

m は 1 ~ 15 の整数であり、

U は、存在しないか、もしくは CH_2 である）であり、

糖は、少なくとも 1 つの炭水化物部分を有する基であって、次に示す基から選択される基

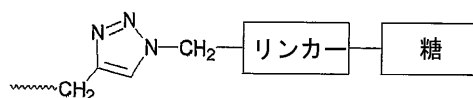
【化 3】



もしくはこれらの誘導体である）であり、

かつ、該カリキサレン系グリコシル化化合物（I）の 4 つの C 基のうちの少なくとも 1 つは、次に示す前記式の基

【化 2】



を表す }。